

第3学年社会科学学習指導案

日 時 平成30年11月6日(火)

学 級 3年4組

男子17名 女子16名 計33名

授業者 多田 一喜

1 単元名 地方自治と私たち

2 単元でつけたい力

地方自治に関わる基本的な知識や考え方

3 単元について

(1) 生徒観

意欲的な学習姿勢が見られ、反応や発言が活発で公民的な学習に興味・関心を持つ生徒が多い。グループ学習や話し合い活動を通じた言語活動にも積極的に取り組む生徒が多い。少しずつではあるが教科書や様々な資料を使い調べたことを文章でまとめる力についてはついてきている。しかし、自分の考えを伝え合い、さらに考えを深めることは、これからの課題であると考えている。そこで、花巻市の地域課題を取り上げ、解決方法を考えさせて、お互いに評価させることで、自分たちの解決方法を見直し深める機会にしたい。

(2) 教材観

本単元は、学習指導要領において、公民的分野の内容C私たちと政治(2)民主政治と政治参加(エ)「地方自治の基本的な考え方について理解すること。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解する」と「民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現する」ことをねらいとしている。住民自治を基本とする地方自治の考え方は、地方公共団体の政治や仕組みを貫いている基本的な考え方である。このことを理解させるため、身近な地域の公共団体の政治について取り上げ、地域社会への関心を高め、地方自治の発展に寄与しようとする自治意識を育成することが大切である。

(3) 指導観

本単元では、地方自治について取り上げ地方公共団体の政治の仕組みと、住民の権利や義務について理解する。生徒にとって身近な事例を取り入れて地方自治や住民投票の意義について関心を引き出したい。本時は、単元のまとめとして、花巻市の人口減少を解決するための方法について、理由も明らかにしながら班で考える。お互いのグループを評価しあう活動を通して、自分の班の解決方法を深めたい。

4 単元の指導目標

(1) 住民自治を基本とした地方の政治に関心を持つことができる。

【社会的事象への関心・意欲・態度】

(2) 地方公共団体がかかえる課題の解決方法や、住民投票に関して多面的・多角的に考察し表現することができる。

【社会的な思考・判断・表現】

(3) 統計資料から地方財政の歳入や歳出を読み取ることができる。

【資料活用の技能】

(4) 地方自治の考え方と仕組み、地方財政の仕組みや課題について理解することができる。

【社会的事象についての知識・理解】

5 単元の評価規準

(1)社会的な事象への関心・意欲・態度	(2)社会的な思考・判断・表現	(3)資料活用の技能	(4)社会的な事象についての知識・理解
住民自治を基本とした地方の政治に関心を持っている。	花巻市の人口減少を解決する方法について、資料や既習などをもとに、理由も明らかにして表現している。	統計資料から地方財政の歳入や歳出を読み取っている。	地方自治や地方公共団体の仕組み、地方財政の仕組みや課題について理解している。

6 単元の指導計画

時	主な学習内容と活動	主な資料	評価規準
1. 私たちの生活と地方自治	<p>地方の政治は、どのようなことを大切に行われているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の意思に基づいて地域を運営すること（住民自治）。 ・国から自立した地方公共団体を作ることが憲法で保障されている（地方自治）。 ・地方公共団体の組織や運営は地方自治法に定められている。 ・仕事や財源を国から地方に移す地方分権が進められている。 <p>地方自治は、住民自治を大切に、国から自立した地方公共団体によって行われている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市政に期待すること（「かわさき市民アンケート報告書」平成25年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民自治を基本とした地方の政治に関心を持っている。 <p>【社会的事象への関心・意欲・態度】</p>
2. 地方自治の仕組み	<p>地方公共団体の政治は、どのような仕組みで行われているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方議会は条例の制定や予算の決定などを行う。 ・首長と議会は抑制と均衡を保つ関係にある。 ・首長と地方議員は住民によって選ばれる（二元代表制）。 ・住民には直接請求権が認められている。 <p>地方公共団体の政治は、住民から選ばれた首長と地方議員で構成される地方議会で行われている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治の主な仕組み ・大阪市の市議会の1年（2014年） ・住民の選挙権、被選挙権 ・住民の直接請求権 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体の政治の仕組みを理解している。 <p>【社会的事象についての知識・理解】</p>
3. 地方財政の仕組みと課題	<p>地方公共団体の財源は、どのようなになっているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体の財源（地方財政）は、自主財源（地方税）と依存財源（地方交付金、国庫支出金、地方債）によって賄われている。 ・日本経済の低迷により、財政難に苦しむ地方公共団体がみられてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体の収入（歳入） ・地方財政の仕組み ・都道府県の歳入とその内訳 ・地方債の発行残高の推移 ・市区町村の歳出 	<ul style="list-style-type: none"> ・統計資料から地方財政の歳入や歳出を読み取っている。 <p>【資料活用の技能】</p>

	<p>地方公共団体の財源は、自主財源と依存財源で賄われているが、日本経済の低迷により財政難に苦しむ地方公共団体がみられてきている。</p>		
4. 住民参加の拡大と私たち	<p>地方公共団体は、住民参加のためにどのような工夫をしているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民投票や意見交換会、情報公開制度、オンブズパーソン制度など、住民の声を生かす機会を確保している。 ・自治会やボランティア、NPO など、住民が自発的に地域の公共の仕事に参加している。 ・少子高齢化、環境対策、過疎地域、被災地の復興など、地域の課題が出ている。 <p>地方公共団体は様々な形で住民の声を生かす努力をしている。また、住民も積極的に地域づくりに参加している。しかし、地方が抱える課題も多くなっている。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・住民自治を基本とした地方公共団体の工夫を理解している。 <p>【社会的事象についての知識・理解】</p>
5. 私たちの政治参加	<p>花巻市の人口減少を解決するためには、どのような方法があるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花巻市が抱える課題をとらえる（人口減少）。 ・班で人口減少を解決する方法を考える。 ・お互いの解決方法を評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花巻市の人口の推移と今後の予想 	<ul style="list-style-type: none"> ・花巻市の人口減少を解決する方法について、資料や既習をもとに、理由も明らかにして表現している。 <p>【社会的な思考・判断・表現】</p>

7 本時の指導 (5/5)

(1) 本時の目標

○花巻市の人口減少を解決する方法について、資料や既習などをもとに、理由も明らかにして表現することができる。

(2) 研究主題とのかかわり

研究主題
生徒に「分かる・できる」実感を持たせる指導の在り方
～主体的・対話的で深い学びをめざして～

1. 具体的な資料を提示することによって、切実感のある学習課題を設定する。
2. お互いに解決方法を伝え合うことによって、自分たちの解決方法見直す機会にする。

(3) 本時の評価規準

評価の観点	評価規準	評価の方法
社会的な思考・判断・表現	・花巻市の人口減少を解決する方法について、資料や既習などをもとに、理由も明らかにして表現している。	・ホワイトボード・発言

(4) 本時の展開

	学習活動	○指導上の留意点 ●評価	主な資料
導入 8分	1. 既習事項の確認 ・地方自治について、仕組み、財政、住民自治などを簡単に振り返る。 2. 花巻市が抱える問題の把握 ・花巻市が抱える課題を予想する。 ・資料「花巻市の人口の推移と今後の予想」から、感じたことや今後予想されることを発表しあう。 3. 学習課題の設定	○前々時や前時の学習をもとに、地方が抱える課題が多くなってきていることを想起させる。 ○花巻市が抱える課題に対する生徒の感想をもとに、学習課題をつくるようにする。 ○解決方法につながる6つの視点を与えておく。	・花巻市の人口の推移と今後の予想
花巻市の人口減少を解決するためには、どのような方法があるのだろうか			
展開 35分	4. 学習課題の追究 (1) 班で解決方法と、その方法を考えた理由を考える。 ①子育て ②若者 ③労働者 ④高齢者 ⑤外国人 ⑥観光 (2) 各班で考えた解決方法を、理由を交えて発表する。 (3) 評価結果について理由を交えて発表する。	○各班がより充実した解決方法になるように資料を準備しておく。 ○各班の発表時に、評価シートに記入させる。 ●花巻市の人口減少を解決するための方法について、既習や資料などを用い、理由も明らかにして表現している（ホワイトボード、発言）。 ○班の良さを意識させるために教師から質問をする。	① 出生数の減少、子育て世帯の所得水準の低下 ② 若者の人口変化 ③ 労働力人口の変化 ④ 高齢者人口の変化 ⑤ 花巻市の外国人数 ⑥ 観光統計、観光マップ
終末 7分	5. 振り返り	○振り返りを記入させ、数名に発表させる。	